

公立大学法人秋田県立大学 教員募集要項

1. 職名及び人員 准教授 1名
2. 所属 生物資源科学部 生物生産科学科 植物生産基礎グループ
3. 専門分野 植物栄養分野  
本公募では、無機分析の基礎知識と土壌-植物系での元素の動態を解析できる能力を有し、有用元素、有害元素の植物の吸収機構の解明と応用に意欲的に取り組める人材、さらに生物生産分野への就業をめざす学生の教育並びに地域貢献に熱意のある人材を求めます。
4. 担当授業科目 [学 部] 植物栄養学、基礎化学 I (分担)、食料生産の将来展望 (分担)、化学生物学実験 I (分担)、生物生産学研究室実験、生物生産科学実験 I、生物生産科学演習、卒業論文  
[大学院] 物質環境化学 (分担)、有機・無機化学物質取扱法 (分担)、課題研究等
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有し研究上の業績を有すること  
(2) 当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること (地域との連携研究の実績があることが望ましい)  
(3) 国籍は問わないが、日本語が堪能であること  
(4) 採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 平成 30 年 4 月 1 日
7. 勤務条件等 (1) 身分 公立大学法人職員  
(2) 給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制  
(3) 勤務 裁量労働制  
(4) 任期 5 年の任期制 (再任回数に制限はありません。)  
(5) 定年 67 歳
8. 応募書類 (1) 履歴書 (本学所定の様式 1 による。\*)  
(2) 研究業績書 (本学所定の様式 2 による。\*) 研究業績は、①学術論文 (査読付き)、②国際会議発表論文 (査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの 5 編に○をつけてください。  
(3) 主要論文 5 編 (コピー可)  
(4) これまでの研究、教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1000 字程度)  
(5) 教育に対する抱負 (1000 字程度)  
(6) 研究・地域貢献に対する抱負 (1000 字程度)  
(7) 応募者について意見を求めることができる推薦者 2 名の氏名と連絡先  
(8) 科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去 5 年間における獲得状況の一覧  
  
注) \*印: 履歴書 (様式 1) 及び研究業績書 (様式 2) については、ホームページ (<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 平成 29 年 10 月 31 日 (火) 必着
10. 選考方法 (1) 第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接  
(2) 第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接  
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先 〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438  
秋田県立大学生物資源科学部 植物栄養分野准教授選考委員長 服部浩之  
TEL: 018-872-1656 (ダイヤルイン) E-mail: hhattori@akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「生物生産科学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援・環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。  
(女性活躍推進行動計画: <http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)  
(子育て支援等行動計画: <http://www.akita-pu.ac.jp/kosodate/kosodate.pdf>)

## 今回の公募で求める人材像

### (植物生産基礎グループ 植物栄養分野)

生物生産科学科では、植物を中心とする生物資源の機能を生態・生理及び分子生物学の視点で明らかにし、次代の生物関連産業の振興への貢献を目指して研究・教育に取り組んでいます。この中で植物栄養分野は、養分元素や有害元素の土壌—植物系での動態の解明、地域で発生する有機性廃棄物の肥料としての利用などの研究に取り組み、持続的な食料生産、高品質の食料生産を目指しています。

本公募では、無機分析の基礎知識と土壌—植物系での元素の動態を解析できる能力を有し、植物による有用元素、有害元素の吸収機構の解明と応用に意欲的に取り組める人材、生物生産分野への就業をめざす学生の教育並びに地域貢献に熱意のある人材を求めます。さらに、地域の未利用資源の植物生産への活用や元素の循環に基づく持続的な食料生産に関心のある方を望みます。

## 生物生産科学科 大講座制グループ構成

基本方針：植物を中心とする生物資源の機能を最新の技術で明らかにし、バイオテクノロジーによってその優れた機能を役立つ形にするとともに生産技術の開発に貢献することを目指す。

### 生物生産科学講座

#### 植物生産基礎グループ

・ **植物栄養分野** 土壌と植物での元素動態の解明

植物を用いた土壌浄化技術の開発、有機性廃棄物の堆肥化、DNAによる土壌微生物分析

・ **植物生態生理分野** 環境に対する植物の反応から持続的な資源植物の安定生産

イネの直播栽培、水耕栽培での野菜の機能性向上、イネの冠水抵抗性、根系形成の生理学

・ **植物保護分野** 植物病害の発生生態を解明し、環境に優しい防除法の開発

土壌伝染性病害・空気伝染性病害・ウイルス病の分子生態的研究、分子同定、病原学

#### 植物遺伝・育種グループ

・ **植物遺伝・育種分野** 植物の機能に関わる遺伝子の探索、ゲノム解読、品種改良技術の開発

イネの低温適応および重金属蓄積の分子機構、植物の突然変異体の遺伝解析と利用、植物の生命プログラムの解明、果樹の生殖生理に関わる遺伝子の解析と育種利用

#### 植物分子生理グループ

・ **植物生理分野** 澱粉の合成メカニズムを解明、澱粉新素材の開発

貯蔵多糖生産代謝の進化機構、澱粉構造を改変した変異体米の作出と産業利用

・ **植物分子情報分野** 植物の形態形成や細胞分化に必要な遺伝子の働きの解明と応用

植物腫瘍形成と老化機構、イネの形を決めるメカニズムの分子遺伝学的解明

#### 生物活性物質グループ

・ **生物活性物質分野** 植物や昆虫など生物間の相互作用に関わる化学物質の解明と応用

生物活性物質の単離・合成、昆虫と植物との相互関係の化学的手法による解明

#### 植物資源創成システムグループ

・ **植物資源創成システム分野** 二次代謝産物の医薬・化粧品への応用と植物工場での生産

環境調節・制御による生物生産の効率化、植物・地衣類の有用物質生産に関する研究